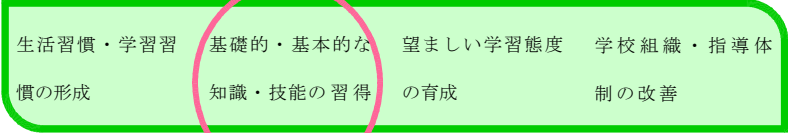


あと一步の向上に向けた取組

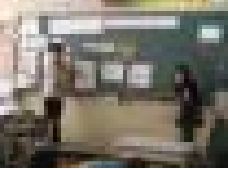
函館市立高丘小学校



1 学力向上の具体的な方策

- ① 活用力の前提となる基礎的・基本的な知識・技能の確かな定着を図る。
- ② 互いに表現し合い、言語活動を重視した学び合いを図る。
- ③ 研究授業実践を通して、効果的なT Tのあり方や指導形態の工夫を図る。

2 取組の概要

<p>授業改善</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 少人数指導、T T指導の工夫改善 ・ 個に応じた指導の充実 ・ 支援員の活用 ・ 自己評価の活用 ・ 学力検査（CRT） <p>学力状況調査の結果を生かす 等</p>  <p>支援員の活動</p>	<p>学習習慣作り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝自習の充実（月・火・木） ・ 基礎・基本の定着を図る反復・繰り返し学習の徹底 ・ 家庭学習の工夫や改善 <p>（課題の与え方、家庭との連携等）</p>
<p>校内研修</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 算数科の授業研究（活用型学習） ・ 複数指導方法の研究 ・ 算数科の基礎・基本の定着 ・ 全学年での授業公開  <p>1年算数公開授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師一人一人の指導力向上 ・ 伝えあうことを大切にした授業づくり 	<p>読書指導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝読書、読書指導の充実（水・金） ・ 図書の実践、読書環境の整備 ・ 読み聞かせボランティアの活用 ・ 家庭読書のすすめ  <p>読書ボランティアによる読み聞かせ</p>

3 成果（○）と課題（●）

- 基礎的、基本的知識、技能は概ね定着している。
- 読書に対する興味・関心が徐々に向上してきている。
- 自ら学ぼうとする力が不足している。
- 読み取る力、思考力、表現力に課題がある。
- 家庭学習に取り組む時間が少ない。